

JRS 2011
(ジョイント・ルーメン・シンポジウム 2011)

主催：ルーメン研究会

期日：2011年10月16日（日）～10月20日（木）

場所：北海道大学学術交流会館

内容：反芻家畜を栄養、生理、生化学、分子生物学、生態学、共生、進化などの多角的視点から研究し、畜産の基礎および応用の発展に資するための集会で、97年から始まり今回で8回目（日韓中の東アジア3国による隔年持ち回り）です。

プログラム、ソーシャルイベント、宿泊および登録料などの詳細は、下記のURLを参照ください。

<http://www.agr.hokudai.ac.jp/anim/nutr/jrs2011.htm>

主催者：板橋久雄（ルーメン研究会長、日本獣医生命科学大学）

開催責任者：小林泰男・小池聡（北海道大学大学院農学研究院）

問い合わせ：葛間由子 kuzuma-y@anim.agr.hokudai.ac.jp

011-706-2476

演題名送付：7/31まで（e-mailで） 要旨送付：8/31まで（by e-mailで）

発表はすべて英語での口頭発表です（演題数過多の場合は審査選択が入る場合があります）。

登録：8/31 まで（e-mailで。登録料は現地徴収）

一般40,000円 学生35,000円（宿泊、食事、エクスカージョンほか全て込み）。

招待講演者：John Wallace（英・ロウエット研）、Rod Mackie（米・イリノイ大）、Chris McSweeney（豪・CSIRO）、Juan B. Liang（マレーシア農大）

優秀発表賞：学生が対象（賞状と記念品）